

3

タイムマシンで見よう!

- ^{むかし}昔はどんなまちだったんだろう？
^{むかし}昔のまちを鳥になったつもりで空から見よう！
^{ころ}いつ頃のどのあたりの^{しゃしん}写真かな？ → ^{こた}答えは49ページを見よう！

① ^{えんとつ}煙突から^{けむり}煙が出ているね。



② ^{えきまえ}どこの駅前だろう。



③ ^{おお}大きな^{どうろ}道路ができたんだね。



④ ^{てつどう}鉄道のまわりを^{かいほつちゆう}開発中だよ。



⑤ ^{むかし}昔からの^{いえ}家がたくさんあるね。



⑥ ^{やま}ほとんど山になっているね。



- ^{しら}みんなのまちも調べてみよう！



^{ちよつと}ちょっと見よう ^{さいやく}幸区のページ (→36・37ページ)

● ^{うつ}まちの移り^か変わり ^{かわさきえきにしくちさいかいほつ}～川崎駅西口再開発と^{おんがく}音楽のまち・^{かわさき}かわさき～

^{さいかいほつ}再開発ってなに？ どうしてするの？

^{かわさきえきにしくちさいかいほつ}川崎駅西口再開発の^{めだま}目玉は^{かわさき}ミュージア川崎

【調べ方】こんな方法があるよ！

●まちで発見して「なぜだろう？」と思ったことは、自分たちで調べよう！



かくがっこう ぶくどくほん
各学校の副読本、
副読本かわさきなど



としよかん
図書館



むかし しゃしんしゅう
昔の写真集



しやくしよ くやくしよ しりょう
市役所や区役所の資料コーナー インターネット



ほかに
その他にもいろいろな
しりょうかん
資料館があるよ！

●市役所などへはこんな風に聞いてみよう！



き
聞きたいことを
まとめておく。



〇〇について
教えてください！



ちやくせつ い はなし き とぎ
直接行って話を聞く時は
事前に電話等で予約して行こう！

●こんな地図や写真があるよ！



じゅうたくちず
住宅地図
いっけんいっけん なまえ
一軒一軒の名前入り。

ひょうさつ ばしょ
表札で場所がわかる。
ほんや としよかん
本屋さんや図書館にあります。



ちけいず
地形図
たてもの かたち
建物の形がわかる。

たんけん
まち探検にぴったり。
いろいろなお
大きさあり。
くやくしよばいてん う
区役所売店で売っています。



ふる じだい ちず
古い時代の地図
むかし
昔のようすがわかる。

めいじじだい
明治時代のもあるよ。
しやくしよとしげいかくか
市役所都市計画課にあります。



こうくうしゃしん
航空写真
そら
空からとった写真。

むかし じだい
昔の時代のもあるよ。
しやくしよとしげいかくか
市役所都市計画課にあります。

まちづくり今昔物語 ～溝口～

まちづくりの今と昔を比較してみました。場所は高津区の溝口です。

まちづくりの昔 ～大山街道の宿場町(溝口宿)～

- 溝口は歴史あるまちです。
- 江戸時代には、大山街道の宿場町(溝口宿)として栄えました。
- 今でも、蔵づくりの建物など、その面影を残す建物が残っています。



灰吹屋



岩崎ホテル(糶ホール)

建物の建て替えをするときに、街道沿いにあった蔵を敷地の奥に移して保存し、新たに蔵をイメージしたビルを建てました。道路に面して広場もあります。

大山街道ってなあに？

- 大山街道は、今の東京、江戸赤坂御門から大山阿夫利神社へと続く、大山ま回りの道として知られた道です。多摩川を渡り、二子、溝口を経て、さらに厚木、秦野を過ぎて関所であった矢倉沢をとおり、足柄峠を越えていきます。
- 大山は、別名「雨降山」とも呼ばれ、古くから人々が雨乞いに出かけました。
- この道は、物資を輸送する商業ルートとしても栄え、駿河の茶や真綿、伊豆のしいたけや乾魚、秦野のたばこなどが江戸へ運ばれていました。また、文人が集う文化交流の道でもあり、岡本かの子、岡本太郎、濱田庄司の生誕、育成地でもあります。



灰吹屋薬局
1955年(昭和30年)撮影



大石橋付近の街なみ
1966年(昭和41年)撮影

まちづくりの今 いま ～駅前再開発えき まえ さい かい はつ～

- 以前の駅前いぜん えきまえは、電車の乗り換えの人や、バス、タクシーに乗る人、買い物をする人などで、ごった返してがえいました。朝夕には、道路は車と人であふれ、危険な状態でした。建物も古くなり、建替えが必要になりました。
- そこで、地域の人たちと、市役所の人で協力し、まちの整備計画をつくり、再開発をすることになりました。

再開発前の駅前の様子



J R武蔵溝ノ口駅周辺の街なみ



あめ ひ ちが
雨の日などは、すれ違
いができないほど混雑
することもありました。

東急溝ノ口駅前の通勤時間帯の様子

- 再開発の工事では、昔からその場所で暮らしていた人や商売をしていた人たちは、いままでの住まいやお店から他へ移らなければならなくなります。新たに移動場所を探すことも大変ですし、みんなの意見がまとまらなくては工事は進みません。
- 全ての工事が完成するまでに、40年近くの年月が流れました。

みんなが名づけ親！「キラリデッキ」

- 再開発によって、新たにデッキが生まれました。2つの駅と再開発でできたビル、タクシー乗り場、バス停、商店街などを結び、人々が安心して楽しく歩ける空間となっています。
- 利用する皆さんに親しみを持って使ってもらいたいと、デッキの名前を募集し、ワークショップも行い決定しました。
- ワークショップでは、溝口のまちのイメージやデッキの色や形から連想する言葉を探ることから始め、募集して出された個人案(41案)と当日みんなで考えた案(17案)の中から話し合いや投票を行い、「キラリデッキ」に決まりました。

※キラリデッキのキラリは高津区のまちづくりのテーマとなる水と緑が光る様子を表し、円筒広場はデザインのテーマとなった円筒分水に由来しています。

たいへんたの じかん
大変楽しい時間で
した。自分たちが
考えた名前が残っ
てうれしいです。



再開発で完成したビル「ノクティ」



ワークショップ当日の様子